



山形は日本一か

郷土の山形新聞では発行 150 年記念の連載として「めくる 150 年」を企画しており、11 回目の特集は昭和 27 年の衆議院選挙で、県内の投票率は全国トップであったと当時の記事を大見出しで報じていました。（県内の平均投票率は、88.03% という驚異的レベルだったようです。）この年は、敗戦後の連合国軍総司令部（GHQ）による日本統治が終了してから初の国政選挙・衆院選が行われたのでした。若者の政治への関心や投票率の低さが問題となっている現代からしてみれば、この数字の価値は大きいと評論していました。



（ちなみに、今年 7 月の参院選でも県内の投票率は 62.55% と、国政選挙では 6 回連続で全国トップだったようです。）

いずれにしても、喜ばしく誇れる事象ですが、ほぼ同じ時機に、普段気にも留めず購読した記憶もなかった「週刊現代」（11月 24 日号）の新聞広告に目が留まり、急ぎ買い求めました。巻頭特集記事ではなかったのですが、「全国都道府県の『文化度と県民性』民度が高い県 民度が低い県」を統計データと独自調査で判明したとするものでした。副題は、●犯罪が起きやすい大阪 ●飲酒運転が多い山梨 ●奈良ではポイ捨てを見ない ●ちゃんと選挙に行く山形県民 ほかデータで明らかになる民度の都道府県ランキング！

この記事によると、犯罪が多かったり、町にゴミが散乱していたりするとき、日本ではしばしば「〇〇は民度が低い」という常套句が使われる。そもそも、“民度”という言葉にはどんな意味が込められているのか。その道の専門家によれば、「民度」には 3 つの意味が含まれていると考えられ、1 つ目は、文化的水準の状態や程度だったり、2 つ目は、マナーや慣習など集団規範に対する逸脱の程度を表すために使われ、3 つ目は、政治への積極性や選択の正しさを評価する際に用いられるという。従って、「ゴミのポイ捨て率」や「投票率」などを民度の基準にしていることがわかると指摘されそうです。これを都道府県別にランキング化したのが以下のようになつたということでした。

- ポイ捨てが少ない ①奈良県②富山県③石川県 ●狂犬病の予防注射を打つ ①山形県②新潟県③青森県 ●治安が良い ①秋田県②岩手県③山形県 ●飲酒運転が少ない ①東京都②神奈川県③埼玉県 ●自転車の盗難が少ない ①長崎県②秋田県③埼玉県 ●前回の衆議院選の投票率 ①山形県②秋田県③新潟県 ●今年の参議院選の投票率 ①山形県②新潟県③奈良県 ●ボランティアが多い ①島根県②佐賀県③岩手県 ●図書館を使う ①滋賀県②高知県③東京都 ●大学進学率が高い ①京都府②東京都③神奈川県 ◎総合ランキング ①山形県（偏差値 77.0）②新潟県（68.9）③奈良県（68.0）

以上のようなランキングの順位をもとに点数を付けて総合すると、我が山形県が「民度日本一」の圧勝のようですが、取りようでは「真面目さに加えて、長いものに巻かれるというか、周りの空気を読む県民性」が根底にありそうだとの指摘もありました。いずれにしましても、”民度”を測るには他にも様々な指標があるでしょうが、少なくとも狭い日本の多様な地域性が窺えて、週刊現代 11/24 は他の特集記事も含めてパフォーマンスが高く、購読の甲斐がありました！

総合ランキング

トップ5		
順位	都道府県	偏差値(点数)
1	山形県	77.0(30)
2	新潟県	68.9(21)
3	奈良県	68.0(20)
4	島根県	64.4(16)
5	秋田県	63.5(15)

